

新たな学校防災体制を

新政会
河野 照代



教育長 防災教育を推進する



▲活発な播磨中学校生徒会の皆さん

問 阪神・淡路大震災以降、兵庫県は防災教育は全国における防災教育の基本となった。中学生も防災の担い手になれるはずである。生徒会活動の一環として防災知識の習得を図ってはどうか。

答 生徒会は学校内の組織であり、活動のための資料提供などで協力する。

問 中学生の「ひょうご防災リーダー講座」受講への引き続いての推進は。

答 親子で参加できるよう推進したい。

問 県主催の「ぼうさい甲子園」に挑戦しては。

答 挑戦する学校、団体

問 住民は健康いきいきセンターに対して、さまざまな意見や要望がある。それらの情報収集の方法と回答は。

答 アンケートや意見箱で、情報収集している。回答は掲示している。

問 管理を委託したといえども、業務の点検、アドバイス、訪問など管理監督の必要性があるので。

答 仕様書に基づき全体的に業務を委託するものであり、今後も業務の点検、訪問など必要に応じて実施していきたい。

尾崎 仕様書に基づき
理事 業務委託

いきいきセンター管理は

などがあれば支援する。

問 児童・生徒全員に避難用ヘルメット配備を訴えてきたが、その後の検討は。

答 移動教室での授業の時や、保管場所などの課題から配備に至っていないが、引き続き検討する。

議会を傍聴してみませんか

町議会は、まちの予算や身近な問題について話し合う大切な場です。あなたも、議会を傍聴してみませんか。

【3月定例会の日程】

▶日時 3月3日(火)・11日(水)・24日(火) いずれも午前10時～
(3月11日は会派代表者による代表質問を予定しています。)

インターネットで本会議の生中継を行います。過去の映像は常時放映中です。
町議会のホームページから「配信ページはこちら(外部サイトへリンク)」を選択しクリックしてください。

▶場所 第1庁舎3階 議場

▶請願・陳情の締め切り 3月定例会で取り扱う請願と陳情の締め切りは、2月25日(火)午後5時までです。

<予算特別委員会>

3月定例会中に予算特別委員会を設置し、令和2年度予算をより詳しく審査する予定です。

▶日時 3月12日(木)・13日(金)・16日(月)・17日(火) 午前9時30分～
3月18日(水) 午後1時～

▶場所 第1庁舎3階 議場

●問い合わせ 議会事務局 ☎079-435-2387 (Eメール gikai@town.harima.lg.jp)

災害時の取り組みは

無所属
大北 良子



岡本理事 自助が重要と考える



▲自然災害に備えて住民参加の訓練を

問 今年も台風19号を始めとする大災害が日本各地で発生した。いつ大きな地震や水害などの自然災害が起こるかもしれないという心構えで、自分の身を守り、同時に大切な人を守るためには何をすべきか、そして地域の防災の現状を知り、災害に備えることが大切と考える。

答 11月5日に地震津波一斉避難訓練として緊急速報メールが配信された。聴覚障害を持つ方や携帯を持ち歩く習慣のない高齢者への対策は。

答 災害時における情報

取得は、防災無線やメール、携帯各社のエリアメール、アラートなどを利用したテレビなどからの情報など、行政としても可能な手段を明示している。

問 個人としても情報取得する術を求める必要があり、聴覚障害の方や高齢者についても、テレビ、ラジオなどから情報を得ることも可能と考える。

答 行政側の公助のみに頼るのではなく、自助の部分が重要と考える。

問 大型台風などの被害を想定したハザードマップの改定予定は。

答 来年度改訂を考えている。予算において必要な経費については措置する方向で進めている。

問 救助の際、肩などに巻き使用する災害時用障がい者支援バンドナを取り入れる方針は。

答 ヘルプカードは配布している。現在はバンドナの導入予定はない。



無所属
香田 永明

なぜ中継施設を作るのか

尾崎理事 住民サービスを維持するため



▲中継施設建設予定地の塵芥処理センター

問 ごみ広域化の目的は、ごみの減量化と経費削減である。本町以外の2市1町が検討していない中継施設を建設する目的は。

答 現在のごみ収集時間は、午前8時から午前11時までで、このサービスを維持するために必要である。

問 中継施設の検討・建設に際し、パブリックコメントや新島企業への説明を行わないのはなぜか。

答 住民サービスを低下させない前提で、概ね現在と変わらない方法で検討しており、住民にとっては大きな変更とならない。

問 中継施設を運営する中で環境問題が発生する可能性がある。5年後や10年後、20年後に悪臭が発生しないという保証はあるのか。

答 悪臭については、生ごみなどを取り扱う以上、当然起こりうる問題と認識している。施工業者の選定にあたっては、現在の環境を悪化させないことを条件としたい。

議会の役割は

浅原 理事 議会は長と対等の機関である

問 行政と議会が両輪で町政運営を行うため、議会基本条例に明記されている「監視機能及び立法機能を十分に発揮し」の中の「監視機能」について町長の見解は。

答 議会は、長と対等の機関として、長の執行を監視し、評価するため、地方自治法において個別の権限が規定されていると認識している。